

香川大学における産学官連携の取組み（3）戦略展開 ～知と地域の共生を目指して～

永富太一 （香川大学 社会連携・知的財産センター）

1. はじめに

香川大学では平成 20 年度文部科学省産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）の採択を受け、弊学社会連携・知的財産センター内の社会連携グループ、知的財産グループに加え、新たに戦略展開グループが設置され、現在 3 年計画の中間年度を迎えている。

当グループは、イノベーション志向のプロジェクト設定や研究進捗管理を担い、全体を統括するプロジェクトマネージャー、OJT を通して実地的な知財管理、産学連携のノウハウ及びセンターのマネジメントのスキルを学ぶ若手の知財担当教員、グループ全体の事務を担当する事務員スタッフの 3 名で構成される。

戦略展開プログラムでの中間年度の活動計画は、「知財の戦略的活用を目指した研究推進と、人文社会系におけるニーズ発掘」を目標として以下の3つを事業内容として掲げている。

- ・基本特許及びその周辺重要特許の取得への支援・推進
- ・農商連携など理系と文系の共同研究支援体制の構築・推進
- ・人文社会系における地元企業・自治体のニーズ調査、及び連携強化の推進

本論では、事業内容に沿った活動の内、全学での産学連携、地域連携に取り組む為の学内体制の提案と、実際に試験運用を行い、本格運用に向けて現在進めている取組みについて報告する。

2. 体制構築までの流れ

近年、全国の大学で第3の使命として「地域貢献・地域連携」といった言葉が使われるようになって久しいが、筆者が業務活動で地域ニーズ、学内ニーズの聞き取り調査を各学部に対して行った際に、学部によって「地域貢献・地域連携」の在り方が多種多様であることが明らかとなった。

また、地域連携活動に関しての情報の集約が全学ではできておらず、まずは学内で情報の共有化を行う必要があることが明らかとなった。

社会連携・知的財産センターでは、学内の教員を対象とした学内連携ネットコミュニティACT（以下ACT）を創設し、学内での地域連携活動の情報集約と地域社会への見える化、情報発信の効率化、新たな連携の創出等を図る体制を構築した。図1は体制構築までの流れである。

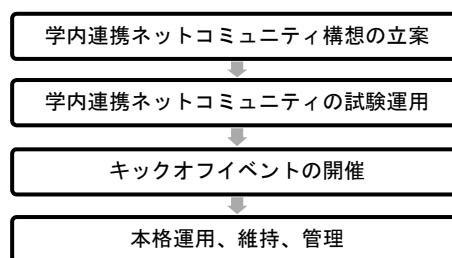


図1 体制構築までの流れ

3. ACTに参加する対象メンバーの選定

ACTのコミュニティへの参加対象者は産学連携・地域連携に積極的に関わっている、もしくは興味がある教員を想定している。また、学内外にネットワークを持ち、自ら情報を発信している教員、異分野に対して好奇心のある教員であればなお良い。

つまり、地域に根付いた研究を積極的に行っている活動情報を共有化し、研究者間で新たな連携先を模索する際にACTを活用することで新たな異分野連携を創出することを目的としている。

4. ACT の試験運用

活発な情報交換、共有の場を創出するために、メンバーには SNS（ソーシャルネットワークシステム）を利用したネットコミュニティに招待し、日々の活動情報、特定のテーマでの意見交換、データの共有などを図れる場を提供する。

また遠隔会議システムを利用し、キャンパス間、出張先でもテレビ電話会議が行えるよう必要な機材の貸し出しを行っている。

これまでの試験運用期間に運用に関する検討会を 3 回行い、試験運用メンバーから意見、要望を聞くことで、本格運用を開始するまでに必要な改善点を探す作業を行った。

5. キックオフイベントの開催

平成 21 年 12 月 2 日に、「知と地域の共生、そして再生 - 香川大学地域連携オープンキャンパス」と題して、研究報告会とセミナーを開催する。

香川大学では地域に密着した研究や地域の活性化につながる研究を推進するため地域貢献推進経費を設け、毎年 10 件程度の研究課題を採択しており、本報告会では今年度採択された研究課題から 8 件の成果を報告する。

セミナーでは特別講演として地域防災活動に基づいた地域連携への思いを香川大学危機管理研究センター長に語って頂くと共に、「地域に支えられ、頼られる大学を目指して」と題してパネルディスカッションを行う。

本セミナーは新しい学内外の連携を生み出す核としての ACT のキックオフも兼ねており、各セッションを通じて大学と地域のより良い連携を築くためのあるべき道を聴衆と共に探っていく。

6. 本格運用と今後の課題

ACT の本格運用を開始するにあたり、試験運用の間に様々な意見や要望が挙がったが、今後、本格運用でも新たな要望を適宜取り入れ、常により良い体制を目指し、維持、管理していく必要が求められる。図 2 は ACT での活動の主なねらいであるが、これは同時に今後の課題でもある。

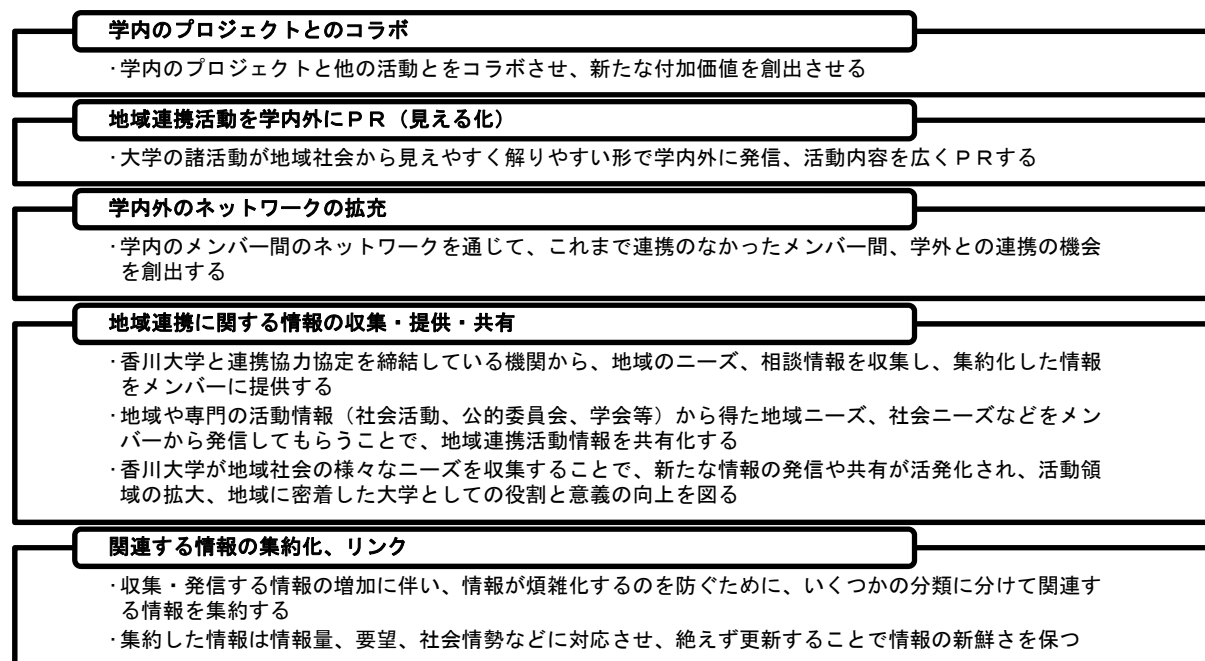


図 2 ACT での活動の主なねらい